

昨年3月、本市はルートインジャパン(株)と基本協定を締結しました。今回、開業に向けたスケジュールを公表する準備ができましたのでお知らせします。市民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。



(仮称) ホテルルートイン沼田外観イメージ

旧庁舎跡地最高の利活用 ホテルルートイン沼田

旧庁舎跡地に 令和4年11月 開業予定

ホテルルートイン沼田が開業することにより 市民が豊かに暮らせるまちづくりが期待できます

令和元年5月、旧沼田市役所庁舎(西倉内町)は老朽化により55年の歴史に幕を閉じ、跡地の活用方法について民間事業者からの提案を公募。地域経済への影響が多であることに加えて市への貢献度も高いことから、ルートインジャパン(株)の宿泊施設を核とした市街地活性化事業を採用しました。



観光拠点

新たな宿泊付き観光拠点施設ができることで、市内観光消費額の増加が期待できます。また、市内観光事業者や旅行会社と連携して周遊観光を促します。

まちなか活性化

飲食店

朝食は提供しますが夕食は必要に応じての対応となります。フロントで飲食店マップを配るなどして近隣飲食店の利用を積極的に促します。

経済効果

1年当たり

33

約 33 億円

総務省家計調査、旅行観光消費動向調査などの統計数値より試算

雇用

市民を積極的に採用します。
○正社員・準社員約60名

地産地消

市内業者

地元産の食材、リネン納入、建物・設備のメンテナンスなど、市内業者を最優先します。

まちの灯

防災拠点

災害時は緊急避難場所として活用でき、防災拠点となります。ホテルの備蓄だけでなく、ルートインジャパン(株)の防災備蓄倉庫からも飲料などの物資提供を受ける体制ができています。

また、24時間営業ですので「まちの灯」として安心・安全のまちづくりに寄与します。

市への財政貢献

ホテルルートイン沼田だけで年間約2,000万円の市税収入が見込まれます。定期借地権35年契約として、企業誘致推進条例などにより開業から5年間免除したとしても総額で約6億円を超える収入です。この他に法人市民税も期待できます。

固定資産税

年間約 1,200万円

都市計画税

年間約 800万円

地代

旧庁舎解体費 約 1.8億円

差し引いても 約 4 億円

年間約 2,000万円 × 30年 = 総額約 6 億円

(定期借地権35年契約 - 5年間免除)